

授業コード / Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29303	教職論	小林佳美	2年次・前期	講義・2単位	幼免・保育士必修

授業の概要 / Course Outline
幼稚園教諭、保育教諭、保育士等の制度・法令上の位置付け、服務上・身分上の義務等、職務内容に関する基本知識を講義すると共に、専門職として求められる子ども観、保護者・家庭支援に対する姿勢、職場における協働に関する考え方を、グループディスカッションやワークショップ、プレゼンテーション等の主体的・対話的な活動を通して深められるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
・保育者・教員の役割、職務内容と制度的位置づけを理解する。	A-②、C-①
・保育者・教員に求められる保育・幼児教育の専門的知識について理解する。	A-①、C-②
・保育者・教員にふさわしい価値観・倫理観を自分なりの言葉で説明できるようになる。	A-①、B-①
・保護者や地域社会、専門機関との連携・協働の必要性を理解する。	B-①、C-②
・保育者・教員の資質向上とキャリア形成の必要性を理解する。	A-② B-②

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	30%	講義内容の理解を問う。
レポート試験 Report Examination	20%	授業終了時に毎回提出するリフレクションシート。
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	50%	授業への取り組み(グループワーク、発表等)。

教科書 / Textbooks
指定しない。必要に応じて資料を配布する。 ただし、平成29年版『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』はいつでも参照できるように準備すること。

参考書 / Reference Books
渡辺桜(編)『保育者論:保育職の魅力発見!』みらい、2018年 汐見稔幸・大豆生田啓友(監修)『アクティバート保育学② 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年

予習・復習 / Preparation・Review
確認テストでは手書きノート、ワーク、リフレクションシートのみを閲覧可とします。従って、復習として、解説資料等をノートに整理することで理解を深めることを推奨する。 毎時、授業に関連する絵本の読み聞かせとディスカッションの時間を設けます。読み聞かせの担当者は当該絵本に目を通し、登場人物の心情を考察し、読み聞かせの練習をしたうえで授業に臨むこと。(予習復習の時間は15分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
リフレクションシートを毎時回収して、翌週返却する手順で、適宜コメントをフィードバックする。確認テストについては、最終授業時に全体向けに解説を行う。

その他 / Others
新聞やテレビで報道される保育・子育てに関するニュースや、子どもが登場するドラマ、映画、絵本等に日頃関心をもち、自分なりの意見を持ちながら見ることを推奨する。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	イントロダクション
	自身の被保育体験と絵本から、子どもにとってのうれしい保育者・教師像を考える。
02	保育者に求められる資質と成長
	保育者が活躍する様々な職場を知り、保育者に求められるスキルをマインドマップで整理する。 職業キャリア全体を通じた保育者の学び方を知る。
03	子どもの権利と保育者の役割①
	コルチャック先生の実践から児童の権利条約の意義と保育者の役割・倫理観を学ぶ。
04	子どもの権利と保育者の役割②
	なりきりプレゼンテーションで個と集団を生かす保育者の役割を考える。
05	様々な保育施設と適性
	指針・要領と各園の保育理念・保育内容の関連を知り、プロアクティブ行動の重要性を考える。
06	保育実践における保育者の専門性①
	科学遊びを題材に遊びを通した学びを創る保育者の役割を学ぶ。
07	保育実践における保育者の専門性②
	生活・遊びを通した総合的な指導の概念を学ぶ。
08	保育者の専門性と協働
	PDCA体感型ワークショップで省察・協働の重要性を理解する。
09	教材研究を通した専門性の向上
	身近な廃材を活用して、子どもに「なってみる」教材研究の重要性を考える。
10	家庭・保護者との連携・支援①
	映画・アニメから子育ての現代的課題を知り、保護者・家庭支援の原理を考える。
11	家庭・保護者との連携・支援②
	非参与観察による自らの子育て観の認識と、1年目保育者としての保護者対応を考える。
12	多様な子どもの育ちを支えるためにできること①
	インクルーシブ保育の概念を学び、みんなが安心できる環境構成・教材の工夫を検討する。
13	多様な子どもの育ちを支えるためにできること②
	保育環境におけるジェンダー・ニュートラルリティを理解する。 虐待と貧困の連鎖を学び、保育者としてできることを考える。
14	保育者の資格と制度
	幼稚園教諭・保育教諭・保育士を規定する法律、義務等を理解する。 確認テスト(手書きノート、ワーク、リフレクションシートのみ閲覧可)
15	チーム学校運営への対応
	人事労務管理・教職員の設置規定・園務分掌を学び、同僚性の重要性を考える。